



# アンダーフィラー弾性エクセル

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

## オーデリウォールシステム

### 低汚染形高耐候性水系改修塗装システム

#### 特長

- ①シーラーとフィラーの機能を兼ね備えているので、さまざまな種類の既存塗膜に直接塗装できます。
- ②ヘアクラックに追随する可とう形改修用仕上塗材E主材です。
- ③1液形なので、水で希釈するだけで塗装できます。
- ④キメが細かいので、吸い込みが少なく、光沢のある仕上がりが得られます。

このような使い方があります。

#### ●オーデリウォールシステム

耐候性、耐汚染性にすぐれたオーデフレッシュF100Ⅲ、オーデフレッシュSi100Ⅲ、オーデフレッシュU100Ⅱを組み合わせせたオール水系の改修システムです。



#### ■標準塗装仕様（塗り替え）【オーデ リウォール システム】（仕上げは下記3種からご選択ください）

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希 釈 剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する						
下 地 調 整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去、清掃する						
下 塗 り	ニッペ アンダーフィラー弾性エクセル	1	0.3~0.6	4 時間以上	水道水	3~6	ウールローラー
			0.8~1.3			1~5	砂骨ローラー
						2~5	タイルガン

#### （水性フッ素樹脂塗料仕上げ）

中 塗 り	オーデフレッシュ F 100Ⅲ 中塗	1	0.14~0.17	3 時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上 塗 り	オーデフレッシュ F 100Ⅲ※1	1	0.14~0.17	—	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー

#### （水性シリコン系塗料仕上げ）

上 塗 り	オーデフレッシュ Si 100Ⅲ※2	2	0.14~0.17	3 時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
-------	--------------------	---	-----------	--------	-----	------	---------------------

#### （水性ウレタン樹脂塗料仕上げ）

上 塗 り	オーデフレッシュ U 100Ⅱ※2	2	0.14~0.17	3 時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
-------	-------------------	---	-----------	--------	-----	------	---------------------

・上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。  
 ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）  
 ※1 つや有り、7分つや有り、5分つや有りから選べます。 ※2 つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消しから選べます。  
 ※JIS A 6909 仕様の組みあわせについての詳細はお近くの営業所までお問い合わせください。





# アンダーフィラー弾性エクセル

# 【オーデ リウォール システム】

## ■適用下地

- コンクリート面（現場打ち）
- モルタル仕上げ面
- ALCパネル
- 塗り替え改修用（アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜）

## ■適用塗装系

上塗り= オーデフレッシュF100Ⅲ中塗+オーデフレッシュF100Ⅲ・  
オーデフレッシュSi100Ⅲ・オーデフレッシュU100Ⅱなど

## ■注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにご確認ください）

- フィラーを薄膜仕様で用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。
- 規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
- 開缶後放置するときは皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- 弾性塗料は塗膜が伸びるのでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造（特殊な力）などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
- 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- 本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。
- たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の悪い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はげが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れやちみなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケツ科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツ科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用し「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトンプなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なること、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レタキスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。

## ■JIS A 6909（可とう形改修用仕上塗材）にもとづく性能

試験項目	規格	性能
低温安定性	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	合格
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	0.7以上
	浸水後	0.5以上
1.4		1.4
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと	合格
透水性B法 ml	0.5以下	0.1
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと	合格
ひび割れ充てん性	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと	合格
耐候性A法	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合格
可とう性	ひび割れがないこと	合格

## ■その他の性能

試験項目	規格	性能
水蒸気透過性	JIS Z 0280 透湿度 50g以上/m <sup>2</sup> 24h	85
ゼロスパンション	0.2mm以上モルタルクラック板	0.5

- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、傷などにより補修が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて底層の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 開缶後は皮張りかきやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。

## ■種類と容量

アンダーフィラー弾性エクセル  
○ホワイト……16Kg

### 危険



### 危険有害性情報

- 1.飲み込みと有害のおそれ
- 2.軽度の皮膚刺激
- 3.発がんのおそれの疑い
- 4.生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
- 5.水生生物に有害（急性）
- 6.長期的影響により水生生物に有害

### 安全衛生上の注意事項（ニッペアンダーフィラー弾性エクセルホワイト）

- 1.本来の用途以外に使用しないでください
- 2.使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 3.必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
- 4.取り扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 5.必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 6.飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 7.皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 8.粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 9.暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 10.容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 11.施設して子供の手の届かないところに保管してください。
- 12.直射日光や水濡れは厳禁です。
- 13.塗料などの缶の積み重ねは3段までとってください。
- 14.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 15.内容物/容器を廃棄するときは、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 16.容器、塗具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●このカタログは、再生紙を使用しています。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

※© Copyright 2015 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NP-S164

KB150110T  
2015年1月現在